



暮らしのわくわく歯の健康ガイド

ご存知でしたか？ 矯正法のいろいろ:IPR

ヒント④ 平行性が良くない歯並びを、前歯部のみマウスピース矯正でスタートする場合(左)とワイヤー矯正又はマウスピース矯正等で前臼歯部まで歯列を拡大してスタートする場合(右)のIPR(コンタクトポイント削合調整)予想ラインの比較
 (歯列の拡大量は各個人の症例でまちまちですので
 抜歯かIPRかは、ワイヤー矯正では拡大量を都度観察しながら直ぐ治療計画変更が可能です。

左上白模型:
治療前の本来のコンタクトポイント

左下白模型:
マウスピース型矯正前歯部対応のみで歯並びを良くするために検討されるIPR予想ライン.....

IPRの際
不必要な所を削合をしなければならぬ可能性があります。

右上黄色模型:
ワイヤー矯正又はマウスピース矯正前臼歯部対応で拡大後の本来のコンタクトポイント

右下黄色模型:
上記拡大後、歯並びを良くするために検討されるIPR予想ライン.....

IPRの際
多数歯同時拡大、回転させられるために不必要な所を削合する事は少なく、角が尖って鼓形空隙ができないよう歯の形態修正が可能です。

まとめ ヒント⑩ *装置選択基準例

- ・歯並びの平行性が比較的良い軽度症例
マウスピース矯正装置:①②③
- ・歯並びの平行性が比較的良い軽度・中程度症例
マウスピース矯正装置:インビザライン④
- ・軽度・中程度以上の症例
ハイブリット矯正⑤:
(ワイヤー矯正+マウスピース矯正)
など上記の3方式の矯正法

+マウスピース型マジックチューイー
+矯正後歯列長期安定と補綴治療を考えた保定装置。
「イガリ式PFコーラスラインリテーナー」

- ・前方運動・側方運動がしやすい。
- ・透明度が高い。・従来より薄い。



いわき市植田駅徒歩7分 いがり歯科・矯正歯科クリニック
 ☎0246-62-7111